

はばたき21 通信

2022・3
No.43



ヤングケアラーが
自分らしく生きられる
社会のために

●特集

ヤングケアラーが
自分らしく生きられる社会のために

寄稿「介護で孤立する子ども達 その現状と支援」

西南学院大学教授 安部 計彦 さん

●男女平等推進プラザ開設20周年 PART2

区民と共にあゆむ「はばたき21」

◆どうする？ 家庭での性教育

◆「はばたき21」講座レポート

◆たいとうのキラッとさん紹介

◆「はばたき21」情報コーナーおすすめ図書案内

イラスト よこたしょうこさん

Information

たいとうのキラッとさん紹介

ボランティアガイドは私の生きがい

堀越 直子 さん

台東区観光ボランティアの会 代表



浅草、上野、谷中…台東区の数ある観光スポットをめぐり、史跡や文化を紹介する「台東区観光ボランティアの会」。区が行った講座をきっかけに設立された会には、現在シニア世代の80名近いガイドの方たちが登録されています。台東区内の歴史や史跡・旧跡の研修後、会員それぞれがコース案内に工夫を凝らしているそうで、代表を務める堀越さんも、毎回入念な準備を欠かしません。

「ガイドは私の生きがい。またお願いしますと言われるとうれしい」と語る堀越さん。ガイドするにあたっては、資料の収集・作成はもとより、案内する相手の年齢や地元を意識して、子供にもわかりやすい説明方法を取り入れられたり、郷土にゆかりある史跡を紹介したときには、とても喜ばれたそうです。さらに、何度も経験しているコースであっても、ルートの確認のために必ず下見に行くとのことで、「次へ向かって工夫するのは、とても楽しい」という言葉通り、ガイド歴12年目となる今も、毎回内容を反省し、新たな工夫と改善を心がけています。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、堀越さんが今後に期待するのは、台東区の子供たちに地元のことを知ってもらいたいということ。「勉強やインターネットなどもあるが、実際に見て、自分が暮らす地域に誇りを持ってほしい」というお話やガイドに関する様々なエピソードを伺い、改めて台東区の魅力に気付かせていただきました。

「はばたき21」情報コーナーおすすめ図書案内

ヤングケアラー わたしの語り

— 子どもや若者が経験した家族のケア・介護

澁谷智子編 生活書院

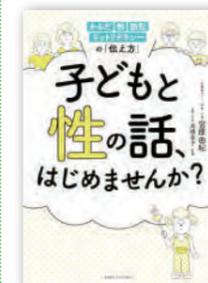


「多くのヤングケアラーは、ケアをマイナスのこととしてのみ捉えてはいない」。元ケアラーの人たちにとって、ケアの経験はどのようなものであったのかを、当事者自らが思いとともに振り返る。

子どもと性の話、はじめませんか？

からだ・性・防犯・ネットリテラシーの「伝え方」

宮原由紀著 CCCメディアハウス



子供の成長に合わせた疑問や悩み、それに対する具体的な伝え方など、それぞれの家庭に合う性教育のヒントを紹介する。親子で読みたい性教育絵本や困ったときのホットライン等の情報も掲載。

わたしは黙らない

～性暴力をなくす30の視点

合同出版編集部編 合同出版



#MeToo.未成年者の性被害、被害者ハッシング…性暴力について声を上げ続け、問題を明らかにしてきた34名が、様々な性暴力に関する現状や課題、性暴力のない社会への展望などを綴る。

編集後記

* ヤングケアラーについて正しく理解することから、社会全体でケアラーを支える第一歩が始まるのではないかと思います。今号の表紙イラストを描いてくださったアトリエよこた（男女平等推進団体）のよこたしょうこさんに、心より感謝申し上げます。（I）

* 柳亭こみち師匠の「落語 & 講演」動画配信の撮影現場にうかがい、そのレポートを書きました。こみち師匠のファンとして、また台東区民のひとりとして、たいへんうれしく貴重な体験でした。

情報誌編集委員 梶原 雄

* 「どうする？ 家庭での性教育」が走り切りました。連載にお力を頂いた先生方に厚く御礼を申し上げます。貴重な機会、体験をありがとうございました。

情報誌編集委員 鈴木 渚

編集・発行：台東区立男女平等推進プラザ「はばたき21」

場 所：台東区西浅草3-25-16
(台東区生涯学習センター4階)

電 話：03-5246-5816

※日曜・休館日以外の午前9時～午後5時

開館時間：午前9時～午後9時

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開館時間は変更になる場合があります。

休館日：第1・第3・第5月曜日

(祝日にあたる場合はその翌平日)

年末年始(12月29日～1月3日)

はばたき21

検索

再生紙を使用しています。

